



教だより

碩愛

No.66

H31.3.7 発行

## 前期児童が卒業生に感謝の会

ねんせい  
1～4年生が

そつぎょう ひ あす  
卒業の日を明日

ひか ねんせい  
に控えた9年生

かんしゃ おも  
に感謝の思いを



つた わか かい ひら  
伝える「お別れ会」が開かれました。

手作りの花のアーチで9年生を小アリーナにお迎えし、前期児童みんなで、9年生との思い出や感謝の思いを綴った呼びかけと手話を交えた「ありがとうの花」のうたをプレゼント。心を込めて遠足や体育大会、文化祭などの行事や日常生活の様々な場面で感じたうれしい思いや感動、目標などを話していました。

お返しに、9年生からは明日の卒業式で歌う合唱歌「群青」を披露しました。（この歌は、福島県南相馬市立小高中学校の平成24年度卒業生が作詞し、同校の先生が作曲した曲です。）



♪涙のあとにも  
見上げた空に  
希望が光っているよ  
僕らを待つ群青の街で  
あー  
きっとまた会おう  
この街で会おう  
僕らの約束は  
消えはしない群青の絆

## 碩田学園 校訓

創造

深く考え、経験と想像力を  
駆使して、普遍の価値を磨き  
あげることを。

自主

自らの意思に基づき、良い  
と思うこと信じる道をひたす  
ら進むこと。

協働

安易な妥協を許さず、仲間  
とともに知恵と力と心をつ  
に合わせて目標を達成し、喜  
びを分かち合うこと。

## 第Ⅱ期卒業生との思い出

せきでんがくえん だい きせい そつぎょう ねんせい  
碩田学園の第Ⅱ期生として卒業する9年生。

せきでんちゅうがっこう にゅうがく  
碩田中学校に入学してきたときからずっと



そばで見えてきました。振り返ってみると…。

1年生のころは、結構“失敗”があって、先生たちにもずいぶん心配をかけましたよね。2年生、いや8年生の修学旅行では、往路の小倉駅で1時間以上も待ち時間がありました。寒風が吹きこむコンコースで、加藤貫太郎君と佐田龍昇君と萩原悠太君の3人がMC役となって、クイズやコントなど、待ち時間さえ楽しい時間に変えていました。でも、その傍らで、大久保先生から指導を受けていた7、8人の男子がいたことも懐かしい思い出です。

復路途中の駅では、30分余りの待ち時間に、駅のコンコースで全員がピクリともせず、話し声もなしにピタッと整列・待機する姿を見せ、通りがかった人たちや添乗員さんたちを驚嘆させました。自分が守れば、だれもこの空気を乱す人はいないと、互いを完全に信じ切って「信頼と尊重」の絆で結ばれた仲間だからこそできる姿だと感じました。

本校には、大勢の方々が視察にお見えになりますが、皆さん、口をそろえて9年生の姿を「朗らかである」「気品がある」「集中力が高い」などと絶賛されていました。

学年主任の西先生を始め、先生たちの厳しくも、本当に妥協のない教えをしっかりと受け止め、成長してきた姿は、まさに碩田学園の大黒柱に育ったと感じます。

9年生のみなさん、ありがとうございました。

### 【お願い】

- ◆期限は過ぎましたが、学級一役のアンケートの提出がまだの方は、ご提出をお願いします。
- ◆年度末ですので、給食費のほか、各種徴収金が未納の方は、完納をお願いします。